

小規模企業景気動向調査

[2020年6月期調査]

～全業種で改善も、最悪に近い水準にとどまった小規模企業景況～

2020年7月29日
全国商工会連合会

<調査概要>

調査対象：全国約300商工会の経営指導員

調査時点：2020年6月末

調査方法：対象商工会経営指導員による調査票への選択記入式

<産業全体> ◇…全業種で改善も、最悪に近い水準にとどまった小規模企業景況…◇

6月期の小規模企業の景況は、全業種で改善となり、産業全体の業況DIは大幅な改善となった。しかし、近年で最悪であったリーマンショック時の水準から抜け出せていない状況である。情報連絡員からは5月の緊急事態宣言解除を受け、徐々にではあるが客足が戻りつつあるとのコメントや新型コロナウイルス感染症対策で実施した消費喚起対策の効果が出てきたとのコメントが見られた。一方で、地域によっては解除後も客足が戻らず、この先も厳しいとする声や第2波の発生を心配するコメントが寄せられた。

<製造業> ◇…全DIが改善も、業種間で差の見られる製造業…◇

製造業は、全DIが改善し、採算・資金繰り、業況の各DIが大幅に改善した。情報連絡員からは製造業全般とまでは言えないが、新型コロナウイルス感染症関係の衛生製品製造業や在宅勤務の普及で需要があった電子部品製造業において業績が改善傾向にあるとの声があった。一方で、緊急事態宣言解除後も観光客が戻らないため、宿泊施設や外食産業へ納品している食料品製造業では厳しい状態が続いている。また、国内外で自動車販売が落ち込んでおり、それに伴いカーナビゲーションシステム等関連部品の受注が大きく減少しているとのコメントも見られた。

<建設業> ◇…公需・民需ともに回復基調にはあるが、先行き不安な建設業…◇

建設業は全DIで改善し、特に資金繰りDIでは大幅に改善した。新型コロナウイルス感染症の影響により、工事の中止や発注が止まっていたが、ここにきて公需、民需ともに回復しつつある。ただし、一般的に工期に遅れが発生しており、資金繰りに影響が出ている。加えて、予定していた工事の中止や延期が発生していることや、投資をためらう動きが出ていることから、この先の受注の減退を懸念するコメントが目立った。

<小売業> ◇…耐久消費財を中心に多少回復も、全体的には厳しい状況が続く小売業…◇

小売業は全DIで改善し、採算・資金繰りDIは10pt以上改善した。水準は全DIで他業種を上回った。商品券発行や特別定額給付金の支給が始まり、耐久消費財を中心に売上が多少回復傾向にある。特に、気温の上昇に伴い、エアコンなどの季節商材も売れつつあるとのコメントが見られた。しかし、衣料品については回復への足取りは重く、また、新車の納品に遅れが発生している自動車小売業では注文を見合わせる動きがあるなど、全体的には厳しい状況が続いている。

<サービス業> ◇…改善に転じるも、宿泊業を中心に回復には程遠いサービス業…◇

サービス業は、全DIで改善し、採算・資金繰りDIは10pt以上改善した。先月まで続いた悪化傾向から、ようやく脱した形となったが、水準は未だにリーマンショック時の最悪期を脱していない。新型コロナウイルス感染症の影響下でも状況に応じた対策をとっていた事業所では、売上が回復しつつある。また、洗濯業では夏物への衣替えシーズンと重なり、やや好転しているとのコメントが見られた。一方、宿泊業を中心に観光関連の事業者では、予約が増えつつあるとの声もあるが、未だ休業状態の事業者もあり、回復への足取りは重い。

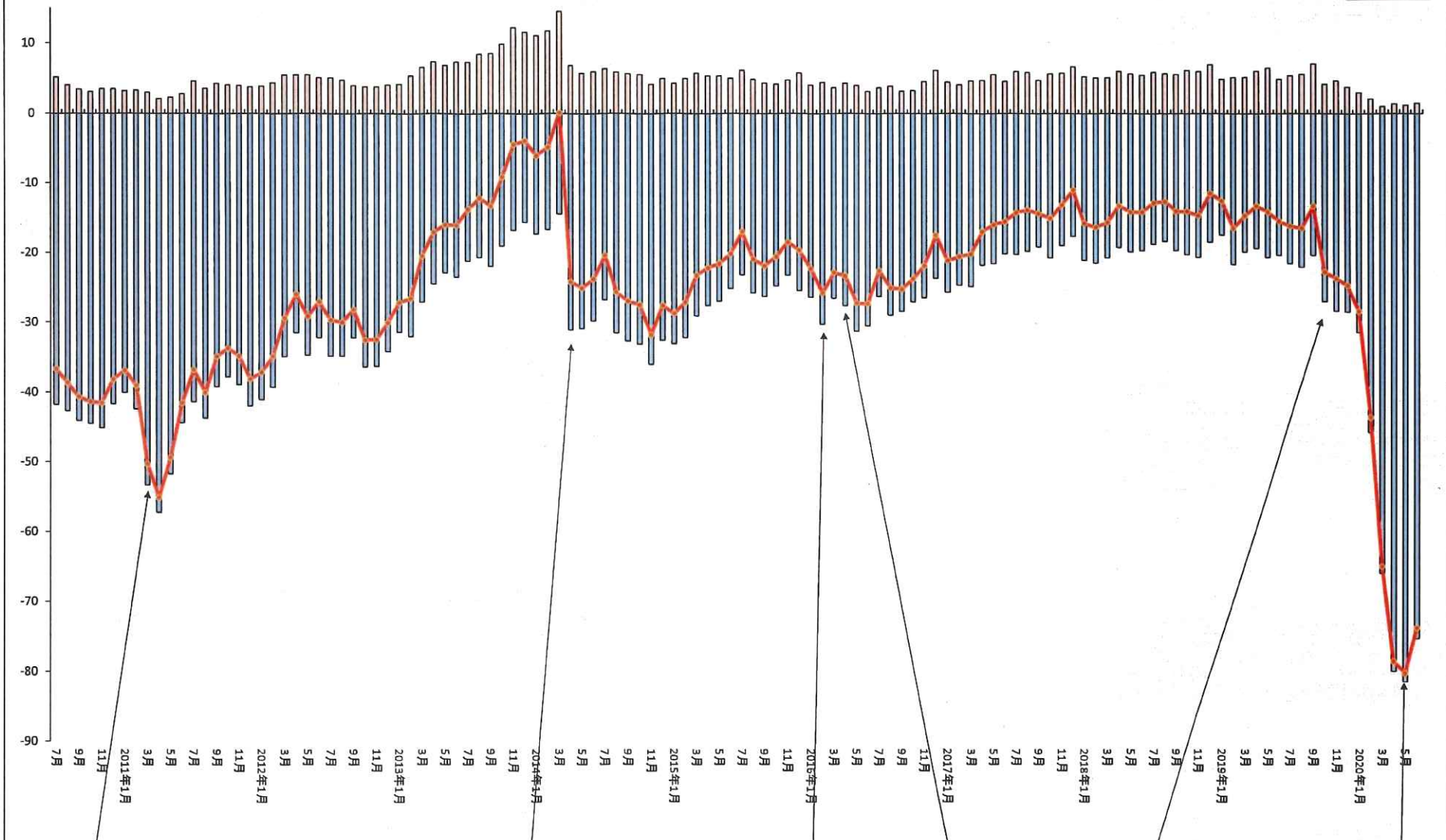
| 業種 | 産業全体 | | | 製造業 | | | 建設業 | | |
|------|--------|--------|-----|--------|--------|-----|--------|--------|-----|
| | 5月 | 6月 | 前月比 | 5月 | 6月 | 前月比 | 5月 | 6月 | 前月比 |
| 売上額 | ▲ 78.6 | ▲ 72.6 | 6.0 | ▲ 83.0 | ▲ 80.7 | 2.3 | ▲ 70.2 | ▲ 67.5 | 2.7 |
| 採算 | ▲ 75.7 | ▲ 67.2 | 8.5 | ▲ 81.0 | ▲ 74.9 | 6.1 | ▲ 67.5 | ▲ 63.1 | 4.4 |
| 資金繰り | ▲ 74.2 | ▲ 64.7 | 9.5 | ▲ 77.9 | ▲ 71.1 | 6.8 | ▲ 68.0 | ▲ 61.0 | 7.0 |
| 業況 | ▲ 80.3 | ▲ 73.8 | 6.5 | ▲ 86.4 | ▲ 81.0 | 5.4 | ▲ 72.2 | ▲ 68.1 | 4.1 |

| 業種 | 小売業 | | | サービス業 | | |
|------|--------|--------|------|--------|--------|------|
| | 5月 | 6月 | 前月比 | 5月 | 6月 | 前月比 |
| 売上額 | ▲ 72.1 | ▲ 63.3 | 8.8 | ▲ 88.9 | ▲ 79.1 | 9.8 |
| 採算 | ▲ 70.5 | ▲ 58.4 | 12.1 | ▲ 84.0 | ▲ 72.5 | 11.5 |
| 資金繰り | ▲ 68.1 | ▲ 58.0 | 10.1 | ▲ 83.0 | ▲ 69.0 | 14.0 |
| 業況 | ▲ 74.9 | ▲ 67.8 | 7.1 | ▲ 87.9 | ▲ 78.4 | 9.5 |

注) DI(景気動向指数)は各調査項目について、増加(好転)企業割合から減少(悪化)企業割合を差し引いた値を示す。

小規模企業景気動向調査(月次)
産業全体の業況…過去10年のトレンド…

■悪化
■好転
—DI



11年3月
東日本大震災
(-50.3)

14年4月
消費税率8%に引上げ
(-24.2)

16年2月16日
日銀マイナス金利導入
(-25.8)

16年4月
熊本地震(-23.4)

19年10月
消費税率10%引上げ
(-15.1)

20年5月
(-80.3)

小規模企業景気動向調査(6月期)における商工会経営指導員の主なコメント

*コメントについては、経営指導員回答の原文を掲載。

1. 景気全般

<改善傾向を示すコメント>

- ・町からの補助を受け、飲食店等を応援する事業を実施。人の外出などが増えている感がある。前までの活気にはならないが、徐々に回復に向けて進んでいる感じがある。
(青森県五戸町商工会)
- ・緊急事態宣言解除後、経済活動が少しずつ活発になりつつあり、5月に比べ客足が増加している。
(群馬県中之条町商工会)
- ・非常事態宣言解除後は徐々にではあるが客足が戻りつつある。多く店舗で感染症対策を行っており、町内での感染報告が未だなし。問題は域外をターゲットとする事業者であるが独自に新たなサービスなどの創出に取り組んでいる状況である。また、様々な消費喚起対策が行われており、その効果も大きい。
(大分県玖珠町商工会)

<悪化傾向を示すコメント>

- ・いずれの業種も新型コロナウイルス感染症の影響により売上が減少している状況にある。特に、宿泊業においては、観光客の減少が響いている状況にあり、今後の状況も厳しいと見込む業者が多い。また、感染防止対策に費用が掛かるなど、費用の増加を懸念する事業者も多い感じを受けている。
(青森県外ヶ浜町商工会)
- ・コロナウイルスの影響が大きくなっており、飲食店の中でも特に宴会に特化した事業所が破綻している。旭市内でも結婚式場や宴会場で事業を行っていた2店舗が閉めている。また、調査にはないが、企業が企画を行わないため、折込チラシが非常に少なくなっており、そちらへの影響が出始めている。
(千葉県旭市商工会)
- ・一時期に比べ、国も規制を緩和し多少お金の動きは戻りつつある。しかし、一度変わった生活様式は元には戻らず、依然として受けた影響は大きい。特に人と人が接する機会の多いサービス業については売上がこれまで通り回復する見込みがないばかりか、コロナウイルス感染拡大防止のため配慮(消毒、換気設備の導入 etc)を新たにしなければならず、大きな負担を強いられている。事業所のモチベーションの低下が最も心配である。
(岐阜県八百津町商工会)
- ・緊急事態宣言の解除に伴い、個人消費が若干持ち直しの動きとなったこともあり、市内景気は、新型コロナウイルス感染症の影響により、極めて厳しい状況下から、下げ止まりつつある。生産活動は、売上高の激減状態から脱した感じではあるが、依然として前年比を割っているところが多い。市内事業者の収益悪化は、少しずつ改善を見ているものの、依然として苦戦が継続している。先行きについては、極めて厳しい状況からの持ち直しが、さらに進むことをほとんどの事業者が期待しているが、第2波を心配する声も多い。
(兵庫県川西市商工会)
- ・旅館等は6月15日から営業を再開したが、客足は戻っていない。今後も厳しい状況が続くことが予測される。新型コロナの外出自粛が解除されてからも、自粛ムードは続いており、各種業界の業況も上向いていない状況。また、新型コロナウイルスの影響が遅れて出始めた業種もある。先行きが見えず不安感が漂っているが、持続化給付金等の活用で何とかしのいでいるように思える。
(岡山県みまさか商工会)

2. 製造業

- ・新型コロナウイルス感染症の関係から、非常に先行きが不透明であるが、徐々にものが動き出している感はある。
(岡山県浅口商工会)
- ・5Gの普及で機械金属製造業は業績が好転。
(鹿児島県霧島市商工会)

<悪化傾向を示すコメント>

- ・食料品製造業関連事業者は、緊急事態宣言解除後も観光客の回復が無かったため宿泊施設や外食産業に納品できず依然として厳しい状況が続いている。
(北海道上川町商工会)
- ・パソコン部品製造業はコロナ禍のリモートワーク需要により繁忙であったが、カーナビ部品の受注量が大きく減少。新型コロナウイルスによる国内外での自動車販売台数の減少が影響している。
(宮城県みやぎ北上商工会)
- ・機械金属製造業においては受注調整を大きく受けており7月納品の製品に関しては10月納品まで時期ずらされたとのこと。売上に関しては前年比▲70%になっている事業所もあり非常に厳しい業況となっている。
(京都府宇治田原町商工会)
- ・梅干し製品関連の悪化が激しい。コロナと不作が重なったため。
(和歌山県上富田町商工会)
- ・飲食店向等の食料品や包材を製造する事業者は、新型コロナウイルス感染拡大による飲食店の業況悪化からの回復がまだであり、在庫調整のため、受注が減少している状況が続いている。
(熊本県菊池市商工会)

3. 建設業

<改善傾向を示すコメント>

- ・建築、土木共に堅調。前年並みの売上確保になっている。ただし、本来受注の予定だった民間事業は、コロナの影響で先行き不安から延期、中止になっており公共工事に頼っている感が強めだが、住宅新築も間かれ全般的に回復すると予想している。
(北海道小平町商工会)
- ・新型コロナウイルス感染症の影響によるサプライチェーン毀損の影響を受け、建設資材の仕入等に影響が出ていたが、徐々に好転してきており、売上は上昇傾向にある。
(千葉県香取市商工会)
- ・当地においては高速道路工事や役場移転工事等あることから受注増加しており売上増加しているとのこと。
(京都府宇治田原町商工会)
- ・徐々にだが、公共工事も動き出し新規の現場が稼働する事で売掛金の回収も良好になりつつある様子。県や各市町村の補助金の効果も多少あり民間のリフォーム等の案件は増えつつあるとの事。
(沖縄県南風原町商工会)

<悪化傾向を示すコメント>

- ・新型コロナウイルス感染症の影響により受注工事の遅れがあり、資金繰りに影響がみられる。借入金等にて対応するも、予定工事の中止や延期により先行きが見通せず、厳しい状況である。
(北海道新ひだか町商工会)

・新型コロナウイルスの影響で依然として現場はストップしている状況が多く、また材料も中国から入ってこないため、業務に支障が出ている。

(宮城県遠田商工会 南郷支所)

・外出等制限が解除となったものの、取引先の営業自粛により受注及び売上が減少。今後も影響が続くと予想される。

(茨城県茨城町商工会)

・新型コロナウイルス感染症の影響で特にリフォーム業が現場に入れず苦戦している。

(埼玉県鳩ヶ谷商工会)

・公共工事・民間工事とも再開し始めているが、対前年売上高が平均40%以上減少し、資金繰りは依然として悪化している。

(東京都狛江市商工会)

・元々、公共工事等が少ない状況にあり、厳しい業況が続いている。未だ建築関連の一部業種においては、新型コロナウイルスの影響により材料の入手が困難となり受注に支障をきたしているほか、土木工事においても特殊資材の滞りや県境移動自粛時のあおりを受け専門工事が円滑に進捗しないなどにより工期延長が続いている。

(三重県みえ熊野古道商工会)

・造園工事業では、新型コロナウイルスの影響で主に個人客からの依頼が低調となっており、当面の資金繰りに関する相談が寄せられている。

(岡山県岡山北商工会)

・大手ゼネコンの下請け先は、現場のストップ、テレワーク導入による担当者とのコミュニケーションの難しさ等から工事が進まず売上が落ちている。そのため工務店を中心に直接受注の窓口を広げており、個人店舗・個人宅などへの営業を活発化させている。しかしながら本来現金化に時間がかかる業種であるため、しばらくは資金繰りが悪化すると思われる。

(福岡県宇美町商工会)

・塗装業では、元請けからの新規受注がほとんどないため、現在受けている現場が終わると先が見込めないため先行きに対する不安が大きくなっている。

(熊本県熊本市城南商工会)

4. 小売業

<改善傾向を示すコメント>

・各種小売業は、県等の消費拡大キャンペーン等支援策により若干持ち直した印象。プレミアム商品券が発行され今後も期待。

(山形県尾花沢市商工会)

・新型コロナウイルス感染拡大の影響から、外出自粛の傾向にあり食料品小売業は、売上は増加傾向にあった。その他の業種は、不変から減少傾向にある。

(福島県楢葉町商工会)

・食料品や耐久消費材については、好調に売上が伸びている。エアコン等季節商品の動きが好調である。

(埼玉県幸手市商工会)

・巣籠り消費傾向が継続している感が強く、スーパーでは、保存が利く加工食品を中心に、野菜や果物、肉、魚介類の買上点数が増えたことが原因で、売上自体は前年を上回っている。家電販売では、特別定額給付金が支給されたこともあり、テレビや冷蔵庫、洗濯機などの大型商品の売上が増加した。また、気温の上昇に伴い、エアコンなどの季節商品も好調に動いている。ドラッグストアでは、マスクやアルコール、ハンドソープなど新型コロナウイルス関連商品の動きは、引き続き好調を維持。アパレル関連、衣料雑貨は、バーゲンセール以外では不調になるなど小売業でも差がでている。

(兵庫県川西市商工会)

<悪化傾向を示すコメント>

・家電製品などを扱う耐久消費財関連事業者は、エアコンや空気清浄機などが品薄のため、消費者が買いたいの販売できない状況があり、売上の機会ロスが生じている。

(北海道上川町商工会)

・コロナによる影響から、食料品小売等を除いた小売業はネガティブなコメントが多かった。来店頻度の減少が売上の減に大きく影響しており、非対面式への切り替えが困難なこともあり、今後の状況次第で影響がさらに拡大する可能性があるとの事。

(宮城県栗原南部商工会)

・衣料品小売業はコロナウイルス感染防止のため不要不急の外出自粛傾向が残っており、売上減少が続いている。食料品小売業は、一般住民対象の小売店では売上は前年同月並み。宿泊施設や介護施設等に納めている食料品店では、観光客の激減や介護施設利用者の減少等により売上が半分以下に減少するなど、コロナウイルスの悪影響が大きい。家電小売業においては、県が設けたコロナウイルス感染防止対策支援金を利用して空気清浄機や換気・空気清浄機能付きエアコンなどを買い求める事業者(主に宿泊業)からの注文が相次ぎ、ちょっとしたコロナ特需が発生しているが、それ以外の商品の動きはコロナウイルスの影響で鈍くなっている。

(新潟県妙高高原商工会)

・新型コロナウイルスの影響で一部大手食品スーパーや、個人鮮魚店では売上が以前より上昇しているものの、小規模小売店では消費者の買い控え等で売上は減少。洋品店では旅行等外出自粛意識が継続してありて売上減少。飲食店にも客が戻らない。お持ち帰りも店内飲食程の売上を出せていない現状。

(静岡県浅羽町商工会)

・自動車販売業ではようやく自動車メーカーからの新車供給が戻りつつあるが、問合せや来店客数は戻っておらず、買い控えも起きている。

(滋賀県湖南市商工会)

5. サービス業

<改善傾向を示すコメント>

・旅館・宿泊所に関しては、人数制限などの対応をしながらも予約状況は緊急事態宣言解除後は右肩上がりが増えてきている。県や市の宿泊支援も後押しとなっている。

(石川県白山市商工会)

・洗濯業については、夏物への衣替え、洗濯代行への需要増等により一部事業者は好調。理美容業については、緊急事態宣言中に比べ来客数も増え、回復の兆しが見られる。

(福岡県福智町商工会)

・沖縄はコロナ感染がやや終息しつつあり、また沖縄探検見(県補助金)の効果などでホテル業界もほんの少し容戻戻りつつあるのでクリーニング業界もやや好転傾向である。フィットネス教室や学習塾、パソコン教室などはまだ生徒が完全に戻る事はなく、未透視もつかないで新たな取り組みとしてオンライン教室をおこなう事業者が多くある。

(沖縄県南風原町商工会)

<悪化傾向を示すコメント>

・新型コロナウイルス感染症の影響により売り上げは大幅に減少し、資金繰りに大きく影響している。借入金等にて対応するも回復は見通せず、厳しい状況は継続している。旅館・宿泊業ではGOTOキャンペーンやどうみん割りなどの国・道の施策に期待。

(北海道新ひだか町商工会)

・新型コロナウイルス感染症の影響による、県をまたいだ移動が制限されている状況により観光客の減少が著しく、売上の減少を招いている。今後の状況も危惧している状況にある。理美容業も、感染防止対策により、利用客の受け入れを制限しているような状況にあるので売上の減少を招いている。

(青森県外ヶ浜町商工会)

・東京都の理美容業者における休業要請、飲食店における営業時間短縮要請が終了し、理美容業・飲食業においては徐々に客足は戻りつつあるが、新型コロナウイルス感染症拡大以前の客足までは戻っておらず、売上額、採算、資金繰り、業界の業況ともやや悪化した状態が続いている。

(東京都狛江市商工会)

・清掃関連のサービス業は、移動自粛やテレワークになり、引越しでの清掃受注が大幅減少。売上げの見通しは立っていない状況。清掃は感染のリスクが高く不安が多いとの事。

(神奈川県大磯町商工会)

・宿泊業は、当地においてはもともと閑散期ではあるが、コロナウイルスの影響によりさらに観光客が減っている。ハイクラスのホテルを除いて、県を超えた往來自粛が緩和された後も県外からの客はほとんど来ておらず開店休業状態が続いているところが多い。洗濯業は、主な顧客である宿泊施設がほとんど稼働していないことから連動して売上が大きく減少し業況は非常に厳しい。理美容業は、コロナウイルス感染をおそれて利用頻度を減らしている客が増え、売上が半減まではいかないものの2割から3割程度減少している。

(新潟県妙高高原商工会)

・宿泊業は観光事業に付随しているため、海水浴場の閉鎖や花火大会等イベント関連は軒並み中止となった影響はあったが、観光キャンペーン事業の開始に伴い予約等が少しずつ計画されてきた。しかし、資金繰りは依然大変な状況である。美容室はステイホーム期間におけるメテア等での自宅でセルフカット情報や動画配信により、営業妨害ではと感じるなどの相談もある。

(静岡県牧之原市商工会)

・旅館関連のサービス業は、コロナの影響により前月に引き続き、休業が続く。緊急事態宣言解除に伴い、再開した旅館もあるが、通常にはほど遠い。洗濯関連のサービス業は、6月も自主休業している旅館等は多く、また、往來客もコロナ前と比較して激減している事から、依然として厳しい状況となっている。理美容関連のサービス業は、大幅な売上減少等はないが、利用頻度のスパンが長くなるなど出費控えは継続しており、少しずつ減少している。

(鳥取県中部商工会産業支援センター)

・新型コロナに伴う民泊修学旅行の受入中止によって旅館・宿泊所の業績悪化をもたらしている。観光業の打撃は、宿泊客用の布団シーツのクリーニング回数が減少するなど、洗濯業界にも影響が及んでいる。

(広島県江田島市商工会)